



本年度はたくさんの学生が 懸賞作文に入賞しました

本年度応募した懸賞作文で、5名の学生が、それぞれの賞に輝きました。結果は以下のとおりです。

<毎日農業記録賞>

2020年(第48回)毎日農業記録賞は、過去最多1,596編の応募があり、本校からは3名の学生が各賞を受賞しました。

【一般部門】

▼優秀賞

養豚・養鶏専攻2年 星川 優

「脱3K」：実家の養豚場を「3K（きつい・汚い・臭い）」として敬遠していた自分が、父の養豚に対する真摯な姿勢と、農大の学生アルバイトの楽しそうな姿に心動かされ、家業を継ぐ決意に至った心情と将来目指す養豚経営の姿を書き綴っています。

▼優良賞

施設野菜専攻2年 平原 斎

「いっくんならできるよ」：体調を崩し、3か月ほど通学できなかった小学校3年の時、祖父母とともにトマトを育てたのがきっかけで、将来「農家カフェ」を開くことが夢となったいきさつを、感情豊かに伝えています。



[毎日農業記録賞の受賞者のみなさん]
(左から平原君、諏訪さん、校長、星川君)

▼なごや支局長賞

養豚・養鶏専攻2年 諏訪江厘

「命の重みを「いただきます」」：「畜産農家は感謝の気持ちをもって大切に家畜を飼っていることを多くの人に知って欲しい」と消費者に強く訴えています。

<第31回ヤンマー学生懸賞論文・作文>

406編の応募があり、本校からは2名の学生が各賞を受賞しました。

【作文の部】

▼銅賞

養豚・養鶏専攻1年 中村彩乃

「豚への愛とともにとんかつを食べる」：「豚を大切に思う気持ち」と「それをおいしく食べること」という一見矛盾した内容に一貫性をもたせ、畜産について消費者にもっと知ってもらいたいという思いを強く訴えています。

▼奨励賞

養豚・養鶏専攻1年 美浪さくら

「養豚農家が豚のためにできる事、消費者のためにできる事」：養豚は、日々変化する生き物を相手に、常により良い飼養管理方法を追求していく興味深い仕事。生産者と消費者がお互いをよく理解して真の動物福祉を目指す必要性を説いた力作です。



[ヤンマー学生懸賞論文・作文の受賞者のみなさん]
(左から美浪さん、校長、中村さん)

受賞者は、皆自分の主張が認められたことを喜ぶのみならず、その主張を多くの人に知ってもらえる喜びに輝いていました。
(農学科 山本 るみ子)

農学科一般入学二次試験を行いました

令和3年2月12日(金)に、農学科一般入学二次試験を実施しました。本年度は、鉢物・緑花木、切花、養豚・養鶏専攻に限り、若干名の募集をしました。その結果、6名の応募がありました。2月25日(木)に合格発表が行われ、3名が合格しました。

一次試験同様、午前中に小論文と数学の試験を行い、午後からは、面接試験が行われました。受験者は、緊張した面持ちで試験に臨みつつも、受験勉強の成果を発揮しようと全力で取り組んでいました。

本年度は、推薦入試59名、一般入試43名の合計102名が農業大学校を受験しました。受験者の傾向を見ると県内外の農業高校から65名、普通科、商業科、工業科、総合学科など農業以外の高校から37名の受験がありました。

表のとおり、専業農家の子弟は26名が合格しました。非農家の子弟は57名ですが、本校が開催する体験入学等に参加した受験生が多く、明確な目的を持って志望し、農業に対する様々な思いや夢を抱いていることがわかりました。農大では県内農業の最新知識や技術、経営学を修得する機会があり、知見を広めるための視察研修も計画されています。

専業・兼業・非農家別 合格者数 ()内は前年度の値

	専業	兼業	非農家	合計
特別推薦	11 (6)	0 (0)	0 (0)	11 (6)
一般推薦	7 (13)	3 (3)	31 (45)	41 (61)
一般一次	8 (4)	1 (3)	23 (32)	32 (39)
一般二次	0 (0)	0 (0)	3 (1)	3 (1)
合計	26 (23)	4 (6)	57 (78)	87 (107)

今後も農業を学ぶ気持ちを強く持った受験生の志望が増えることを願っています。
(学務科 近藤 靖之)

経営計画発表会及び閉講式を開催 - 令和2年度愛知農業次世代リーダー塾 -

令和3年1月27日(水)農業大学校にて令和2年度愛知農業次世代リーダー塾の経営計画発表会及び閉講式を開催しました。

本年度の受講生は22名で、うち21名が最終目標である経営計画の発表まで到達できました。経営計画は5年後の事業イメージを明確にするとともに、その実現のための具体的な実行スケジュールを作成したもので、講師である中小企業診断士の深谷氏の指導によりレベルの高い計画を作成することができました。受講生はやや緊張しながらも個性を発揮した発表をすることができ、その後、活発な質疑応答も行われました。

閉講式では、校長から修了証書が手渡され、全12回の講座が終了しました。



[校長から修了証書の授与]

塾は閉講しましたが、受講生は、あいち農業経営相談所等を活用し、専門家のアドバイスを受けながら、さらに経営の発展を図っていく予定です。

(担い手支援科 杉浦 直樹)

農業者育成支援研修閉講式

昨年(令和2年)の6月22日(月)に開講した令和2年度農業者育成支援研修が、2月1日(月)の閉講式をもって終了しました。

本年度の研修は、新型コロナウイルスの影響で、例年の1か月遅れの開始となりました。また、農家見学研修や農家派遣実習を中止するなど研修内容も変更し、ウイルスの感染防止に努めながら研修を実施しました。

本年度の研修者は、年齢こそ20代から60代と幅広いですが、皆さん「これから農業を始める!」という熱い志を持った12名の方でした。7か月間の研修で、ナス、キュウリ、ミニトマト、ダイコン、キャベツ、ハクサイなどの栽培実習や講義、土壌分析実験や大型トラクター実習など、露地野菜栽培の基礎的な知識・技術を習得しました。

今年は台風や、秋の長雨による被害もなく、皆さんが丹精込めて栽培した野菜が、しっかり収穫できました。初めて自分の手で種まきから収穫まで育てた野菜を手にしたときの達成感は、これから農業経営を行っていく上で大きな礎となりました。



[閉講式の様子]

閉講式では、研修生の一人ひとりがこれから自分が目指す農業への抱負を述べました。その後、堤校長から修了証が手渡され、ねぎらいと激励の言葉を受け、閉講式は終了しました。

(担い手支援科 福井 敏幸)

農大からのお知らせ

◇新型コロナウイルス感染防止のためお願い◇

校内における新型コロナウイルス感染防止の徹底を図るため、3つの密を避け、マスクの着用、手洗い・手指消毒を励行するなど、学生や研修生、職員への感染防止対策に取り組んでいます。来校される皆様の御理解と御協力をお願いします。

なお、行事等については、新型コロナウイルス感染症の状況により、延期もしくは中止となる場合があります。その際は、農業大学校ホームページ等でお知らせします。

◇令和2年度卒業式◇

農学科の令和2年度卒業式を次のとおり開催します。

- ・期 日：令和3年3月5日(金)
午前10時から
- ・場 所：中央教育棟3階 大講義室
- ・問合せ先：学務科(伊藤) 0564-51-1602

◇生産物実習販売ごよみ◇

令和3年3月の生産物実習販売についてお知らせします。

- ・販売日：3月3日、10日、17日、24日、31日
(祝日を除く毎週水曜日です。)
- ・時 間：午後3時から
- ・場 所：農業大学校体育館他
※なお、袋入り堆肥は、第2機械庫前で販売します。(毎月第2水曜日)
- ・問合せ先：農学科(山本) 0564-51-1673

校内で家畜伝染病防疫対策実施中

農大では、鳥インフルエンザや豚熱など、家畜伝染病防疫対策を以下のとおり実施中です。来校される皆様の御理解と御協力をお願いします。

- 畜舎のある衛生管理区域への関係者以外の立入禁止
- 農大内の主要な通行ポイントに消毒用の消石灰を散布
- 関係車両等の消毒の徹底
(車両消毒槽、動力噴霧器)
- その他、諸防疫対策を実施

◇農業大学校の公式 SNS の アカウントを開設 !! ◇

農業大学校の公式 SNS として Twitter、Instagram のアカウントを開設しました。

ユーザーネームは「aichinoudai」です。

学校行事や専攻学習・実習販売の情報等、日々の活動を投稿していきますので、是非御覧ください。

・問合せ先：農学科（古川）0564-51-1673